

新ごみニュース

ごみ減量におけるリサイクルとは

〜リサイクルだけでごみは減っていくのか?〜

ごみの減量で皆さんが思い浮かべることは、まずリサイクルではないでしょうか。皆さんが出しているごみの中には、資源としてリサイクルできるものが多く混在しています。これらを適正に分別することがごみ減量への近道と言えますが、リサイクルだけでごみ問題は解決するのでしょうか？

☆リサイクルって？

リサイクルとは再資源化のことを言います。地球上のすべての資源は無尽ではなく、無計画に使用を続ければいつかは枯渇してしまいます。今までは自分たちの生活が良くなることを第一に考えて資源を大量に使ってきましたが、これから子どもたちの世代へのバトンタッチを考えると、限りある資源を有効に活用することが私たちが現代の責務と言えるのではない

でしょうか。リサイクルするために必要なことは、適正に資源を分別することが最低の条件。ルールを守らない人が少しでもいると、リサイクルの品質は著しく低下し、ひどい場合には残念ながら大量の資源を処分しなければなりません。

☆どうして市町村で資源の種類が違うの？

よその市町村から越して来た方や、テレビなどを見て疑問に思う方も多いかもしれませんが、どうして市町村で資源の種類やルールが違うのでしょうか。大きな理由は、それぞれの市町村で運用している清掃工場の処理能力の差や、近くにリサイクルを委託できる民間会社があるかどうか、などが挙げられます。牛久市では、現在9



分別の資源物を回収しています。この分別は全国的にも特に多い分別ではありませんが、この9分別でも分別ルールはなかなか徹底されていません。さらなる分別ルールの遵守が必要です。

☆リサイクルの問題点は？

発生する全てのごみを分別し、再資源化することができれば、環境に優しくなるのでしょうか？確かに処分するごみの量は減り、

利用資源も節約できるかもしれませんが、リサイクルするにも多くのエネルギー(資源)とコストがかかっています。また、一番の問題はリサイクルする方法が確立されると、ごみを減らそうという行動が発生しにくいことです。それだけでごみ問題が解決したように思えてしまい、リサイクル量が増加していくことで結局環境に負荷を与えてしまうことも予想されます。このようにリサイクルだけに偏ることは本来の意味でのごみ減量とはいえません。ごみを出さないように心掛けることがやはり第一で、ごみが出なければ処分もリサイクルも必要がないことを忘れてはいけません。それでもごみの減量にはリサイクルも大切です。ごみを出さないように心掛けた後に、どうしても出てくるごみを適正に分別しリサイクルする。この順番を守ることがごみ減量は進んでいくことができるのです。

牛久市の資源物分別は現在9種類あり、それぞれリサイクルのルールがあります。次回は牛久市のリサイクルのルールについてお知らせします。

